

福江島は、火山がひしめく五島列島最大の島であり、火山群が点在しています。その中でも特に名高い鬼岳火山群は、11 の玄武岩質の単成火山から成ります（大円寺火山、木場火山、長手火山、増田火山、下崎山火山、火ノ岳、上大津火山、城岳、崎山鼻火山、箕岳・臼岳、鬼岳）。最も古い火山が最後に噴火したのは約 50 万年前です。最も新しい鬼岳が最後に噴火したのは、わずか 1 万 8,000 年前です。

生まれて間もない鬼岳で、溶岩流とスコリア流が発生しました。スコリアとは火山岩の一種であり、気泡による穴だらけの構造をしています。その後、火道で広範囲にわたりスコリア流が作られ、最終的には溶岩流がいくつかに分かれて流出しました。この活動期に複数のスコリア丘が形成されました。

その形跡として唯一残されたのは、芝生で覆われた標高 315m のスコリア丘です。頂上からは福江地区に広がる平地を一望できます。五島市の市街地の大部分や、福江港、福江空港などが占める平野部は、もともと鬼岳火山群からの大量の溶岩流によって形作られたものです。

鬼岳の傾斜は緩やかで、山頂への距離も短く、登るのに苦労はしません。頂上からは、五島市やその周辺地域、五島列島の島々の美しい姿を望むことができます。下にはピクニックエリアや展望所があります。五島列島の中でも、鬼岳はとりわけ見事な景色や地質の歴史を有しています。